

事業所名

放課後等デイサービス テント

支援プログラム

作成日

7 年

3 月

14 日

法人（事業所）理念		「利用して良かった」と実感して頂けるサービスの提供を図り、住み慣れた場所で、互いが認め合い、支え合って生活を充実させていける施設運営に努める。							
支援方針		利用児の特性やニーズを理解し、個々の尊厳を守り共に歩んでいく中で、「遊びを通じた学び」や「体験から成る自信」を積み上げていけるよう支援します。また、将来の就労に向けた自立支援を行い、個別と集団における活動の充実を図るなど、総合的なサービスの提供を図ります。							
営業時間		8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	心身の健康状態の把握に努めます。また、自己管理能力の向上を目指し、自分が今、何を目標とし何をすべきかを一緒に考えながら、食事・排泄・衣類の着脱などの、日常生活において必要な動作訓練を行い、少しずつできることを増やし、自立した生活が送れるようになる為のサポートをします。							
	運動・感覚	身体のコントロールができるよう、施設内での運動や施設外での活動を含め、全力で遊ぶ場面と抑えて遊ぶ場面とを織り交ぜながら過ごすよう支援することで、運動機能の向上やバランス感覚の習得を図ります。							
	認知・行動	成長と共に個別課題が見え隠れしていくなかで、自己課題に向かう姿勢や気持ちを養います。また、それぞれの場所で異なるルールや決まり事があり、理解を持って過ごしていける力を身につけられるよう、利用児すべての個々の特性に合わせ理解を深め、互いの信頼関係を構築したうえ、支援計画に沿ったアプローチをしていきます。							
	言語コミュニケーション	見る・聞く・話す等、共生社会を目指していくうえで必要なコミュニケーション能力の習得を図ります。自分の価値観や想いの違いで、たった一言が相手を笑顔にさせたり、悲しませてしまったりと、全く異なる意味になってしまうことを感じ、相手の立場になって発言や行動ができるよう、日常的に利用児の声や心の悩みを引き出し、御家族や関係機関との連携・情報共有を密にし、利用児本人だけにしない、全体のサポート体制を築きます。							
	人間関係社会性	ソーシャルスキルの習得を目指します。集団におけるルールやマナー、感謝や謝罪など、事業所での活動や他者との関わり合いの中で学び、互いの信頼関係の構築に努めます。また、様々な体験を経て、実のある経験価値となれるよう、集団活動での取り組む内容の充実を図ります。							
家族支援		連絡ノートの活用や送迎時でのやりとりのなかで、情報を共有し、些細な困りごとから大きな課題まで、目的を明確にする。また、モニタリング等でのアセスメントによる相談支援を行う。						移行支援	学校、放課後児童クラブ等の各関係機関との連携を図る。サービス担当者会議に出席をする。相談支援専門員への状況報告で進言をする。
地域支援・地域連携		同業の福祉サービス事業所や学校などと必要に応じて連携を図ります。また、地域イベント等への積極的な社会参加をすることで交流を図り、求められる能力の向上や、様々な経験ができるよう支援します。						職員の質の向上	毎月開催の職員会議及び検討会の開催。虐待・身体拘束・感染症等に関する研修の実施。
主な行事等		外出行事、課外活動、調理体験、買い物体験、制作活動、プール、避難訓練等の実施。季節ごとのイベント開催。（お花見、七夕、農業体験、ハロウィン、クリスマス、初詣等）講師を招いての制作教室等。							